

2011 年度 大学院会計研究科(専門職学位課程) 「推薦入学試験(6月実施)志願者募集要項」

早稲田大学
大学院会計研究科

2011年度大学院会計研究科(専門職学位課程)「推薦入学試験」志願者を下記のとおり募集いたします。

記

1. 出願資格

早稲田大学各学部を2010年度中に卒業または卒業見込の者であり、次の(1)、(2)のいずれかの条件を満たす者(2005年度以前入学者は「優」、2006年度以降入学者は「A・A」)

(1) 出願時において、提出する成績証明書(和文)に記載されている「A以上」の評価を得た科目の総単位数が、取得科目の総単位数の3/4以上であること。

(2) 以下のAおよびBの条件を満たしていること。

A: 出願時において、提出する成績証明書(和文)に記載されている「A以上」の評価を得た科目の総単位数が、取得科目の総単位数の2/3以上であること。但し、商学部については、学部上位20%以内の成績を有する者も可。(2010年6月実施推薦入試志願者の場合 S.A.値 1.64以上) 成績変更等によってS.A.値は5月末まで変更になる可能性があります。

B: 以下の あるいは のいずれかを満たしていること。

商学部の設置科目、「上級簿記」および「原価計算論」を履修済みであり、その成績がいずれも「A以上」であること。

日商簿記検定試験2級以上または全経簿記能力検定試験1級以上に合格していること。

2. 募集人員: 若干名

3. 出願期間: 2010年6月2日(水)~6月11日(金)

(受付時間: 月~金 9:00 ~ 17:00)

4. 入学検定料: 25,000円

振込期間: 2010年6月2日(水)~6月11日(金)15:00まで

入学検定料は銀行窓口(ゆうちょ銀行を除く)で振込ください。

ATM(現金自動預払機)・インターネット・携帯電話等による振込は不可

5. 学費等: 2011年度推薦入学者学費・諸会費

学費	初年度納入額		第2年度納入額	
	入学時	後期	前期	後期
入学金	-	-	-	-
学費等	授業料	795,000円	795,000円	795,000円
	実験演習料	50,000円	50,000円	50,000円
	学生健康増進互助会費	1,500円	1,500円	1,500円
小計	846,500円	846,500円	846,500円	846,500円
合計	1,693,000円		1,693,000円	

6. 出願書類：

- 志願票（所定用紙）
- 入学検定料等振込証明書 志願票裏に貼付
- 成績証明書（出願直近の学期の成績の記載のあるもの）
- ・卒業見込証明書 成績証明書と卒業見込証明書が同一の用紙に記載された証明書でも可
- 日商簿記検定試験または全経簿記能力検定試験の合格証書のコピー
出願資格（2）B の場合のみ提出
- 早稲田大学の専任教員（任期付教員を除く）の推薦状
（所定用紙を用いて**必ず厳封**のこと）
- 志望理由書（所定用紙）
- 顔写真（カラー 縦4cm×横3cm）1枚 志願票の所定欄に貼付
出願3ヵ月以内の撮影

7. 出願方法：入学検定料振り込み後、指定期間内に上記出願書類を商学大学院事務所
会計研究科(11号館3階)へ提出（郵送不可）

8. 選考日：2010年6月26日（土） 時間・会場等の詳細は後日通知

9. 選考方法：

- 書類選考
- 口述試験

出願資格の（1）の条件を満たす者
所属する学部で学んだ領域に関する知識および論理思考能力・
コミュニケーション能力を問う。

出願資格の（2）の条件を満たす者
「財務会計」（簿記を含む）および「管理会計」（原価計算を含む）
または会計に関連する諸領域の知識ならびに論理思考能力・
コミュニケーション能力を問う。

10. 合格者発表日：2010年7月2日（金） 会計研究科事務所前掲示板にて掲示

11. 入学手続：2011年1月25日（火）～2月4日（金） 詳細は後日通知

12. 入学時に利用できる学費ローンについて

当学では、2010年4月入学者までは、早稲田大学が保証することによって、入学予定者本人が無担保かつ低利で指定金融機関から入学時納入金全額の融資を受けられる「入学時ローン」制度を設置していました。現在それに替わる、入学時に利用できる学費ローンを準備中です。詳細は決定次第、HP等に掲載する予定です。

13. 合格取消：2011年3月までに卒業できなかった場合には、合格を取り消す

出願書類および検定料等の返還について

一度受理した書類および入学検定料は原則として返還いたしません。

ただし、以下のケースに該当する場合には、入学検定料に限り全額または超過分を返還いたします。

該当する方は当研究科までご連絡ください。

1) 検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。

2) 検定料を多く払いすぎてしまった。

3) 出願資格を満たさなかった、または、出願締切後に出願書類を提出した。

当研究科に入学後に国費外国人留学生となる可能性のある方は、検定料が免除になる場合があります。該当する方は出願前に当研究科事務所までご相談ください。

入学手続時に納入した学費等（前期分）は原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合には、学費等（前期分）のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

個人情報の取り扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。

特別措置について

身体機能の障害により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください

2010年10月30日（土）にも推薦入学試験を実施する予定です。

出願期日 10月6日（水）～10月22日（金） 7月下旬より入試要項配付予定

【受験生の皆さんへお願い】

万全の体調で試験に臨めるよう、普段から手洗いやうがいを行っていただき、ご自身の健康には十分留意してください。入学試験会場でのインフルエンザ等感染症への感染を防ぐため、必要に応じて各自でマスクを用意してください。咳・くしゃみが出る方はマスクを着用する、咳エチケットを守るなど、周囲の方への感染防止にご配慮ください。

当研究科の教育方針への理解を深めていただくためにアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを定めています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

早稲田大学の理念である『進取の精神』の涵養を目指す、一定の高い基礎学力を持ちながら、かつ知的好奇心が旺盛で、自分で計画を立て、種々の課題に積極的に立ち向かう意欲に満ちた個性的な学生を、全国各地や世界中から多数迎え入れる。

早稲田大学大学院会計研究科は、この『進取の精神』を基盤として、学問と実務を融合させた教育を展開している。会計専門家として必要な高潔な倫理観を備え、会計の高度な専門知識・能力およびビジネス分野における幅広い能力を有する人材を育成することを教育の理念とする。当研究科は、このような教育の理念を理解する意欲に満ちた学生を迎え入れている。

当研究科は、会計専門コース、高度会計専門コースおよび国際会計専門コースの3つのコースを有している。会計専門コースは、一般入試を実施するほか、英語力を重視する入試、IT・数理能力を重視する入試等を行っており、高潔な倫理観と高度な専門知識・能力を備えた会計専門家となることを希望する者を学生として迎え入れている。また、高度会計専門コースは、一定の実務経験を有し、さらに会計学または関連する学際的な研究を行うことを希望する者を学生として迎え入れている。さらに、国際会計専門コースは、国際的な舞台で会計専門家として活躍することを希望する者を学生として迎え入れている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

社会が大きな変化を遂げつつある現代、公認会計士をはじめとする会計専門家は、しばしば新しい複雑な事例に立ち向かわねばならない。そのときに必要なものは、自ら問題を発見し、高潔な倫理観と高度な専門知識（アカウンティング・マインド）をもって問題解決にあたる能力である。

当研究科がめざすところは、このようなアカウンティング・マインドを有する会計専門家の養成であり、監査法人や会計事務所のほか、企業、官公庁、非営利組織等さまざまな場所で会計専門家として貢献できる人材を育成したいと考えている。

当研究科の教育課程は、基礎科目群、コア科目群、および実務・応用科目群に属する授業科目から構成されている。学生が基本的な事項から先端的な知識や実務への応用力を身につけることができるように、体系的に編成されている。会計分野と関連する領域にわたって幅広い科目が設置されており、職業倫理、国際的素養、ITへの対応力等を涵養するための科目も設置されている。

早稲田大学の「会計学」には古い伝統があり、数多くの公認会計士や企業の会計担当者を輩出してきた。この伝統に裏打ちされた豊穡な礎の上に、現代に必要とされる能力を有した会計専門家を養成するため、わが国における最高水準の教授陣および施設を備え、そこで最高水準の会計教育を提供することが当研究科の使命であると考えている。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

当研究科が授与する学位は、「会計修士（専門職）」である。

当研究科では、会計専門コース、高度会計専門コースおよび国際会計専門コースのそれぞれのコースについて、在学年数と修了要件単位数が定められている。会計専門コースでは、2年以上在学し、所定の60単位を取得することによって所定の教育課程を修了することとなる。高度会計専門コースでは、1年以上在学し、所定の60単位を取得し、専門職学位論文を提出し合格することによって、所定の教育課程を修了することとなる。国際会計専門コースでは、2年以上在学し、当研究科所定の39単位およびハワイ大学マノア校アカウンティング・スクール所定の21単位を取得することによって、所定の教育課程を修了することとなる。

早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行ないません。

試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。

机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。

他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

早稲田大学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 次のことをすると不正行為となることがあります。

カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。

筆記試験において、使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。

筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。

筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。

試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。

試験時間中に携帯電話を身に付けること。

試験時間中に携帯電話や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。

試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。

志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。

その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

2. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。

・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。

・別室での受験を求めること。

3. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。

・それ以降の受験および当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。

・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

以 上

2010年5月12日